

センサネットワークを用いた 線路近接工事監視システム

【概要】

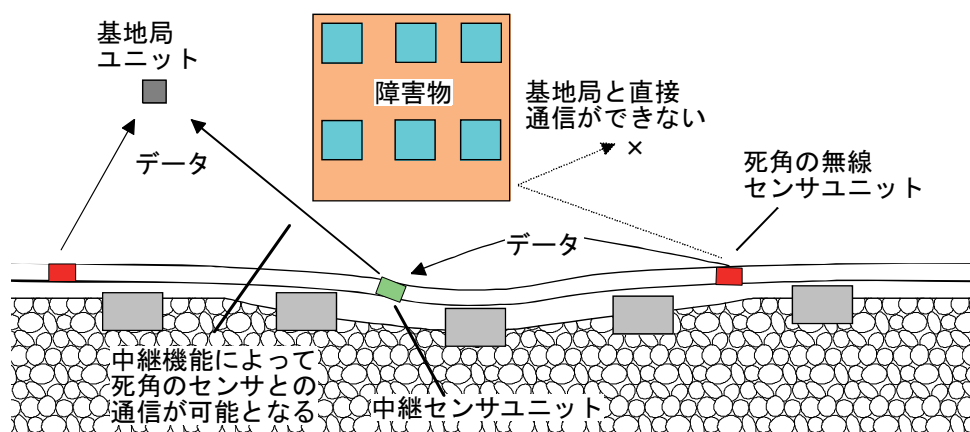
線路近接工事を安全に施工するためには、軌道や構造物の変形をリアルタイムにモニタリングする技術が不可欠です。鉄道総研では、現場技術者が手軽に使用できる低コストかつ簡易な軌道変位常時監視システムを開発しています。

【特徴】

- ①設置や撤去が簡単にできます。
- ②無線ユニットのデータ中継機能により、見通しの悪い箇所でも使用できます。
- ③大容量のバッテリーと省電力機能により、外部電源なしで長期間の計測を行なうことができます。
- ④簡易なインターフェースソフトによって、現場技術者が手軽に使用することができます。
- ⑤シートパイル仮土留め工等の常時監視にも使用可能です。



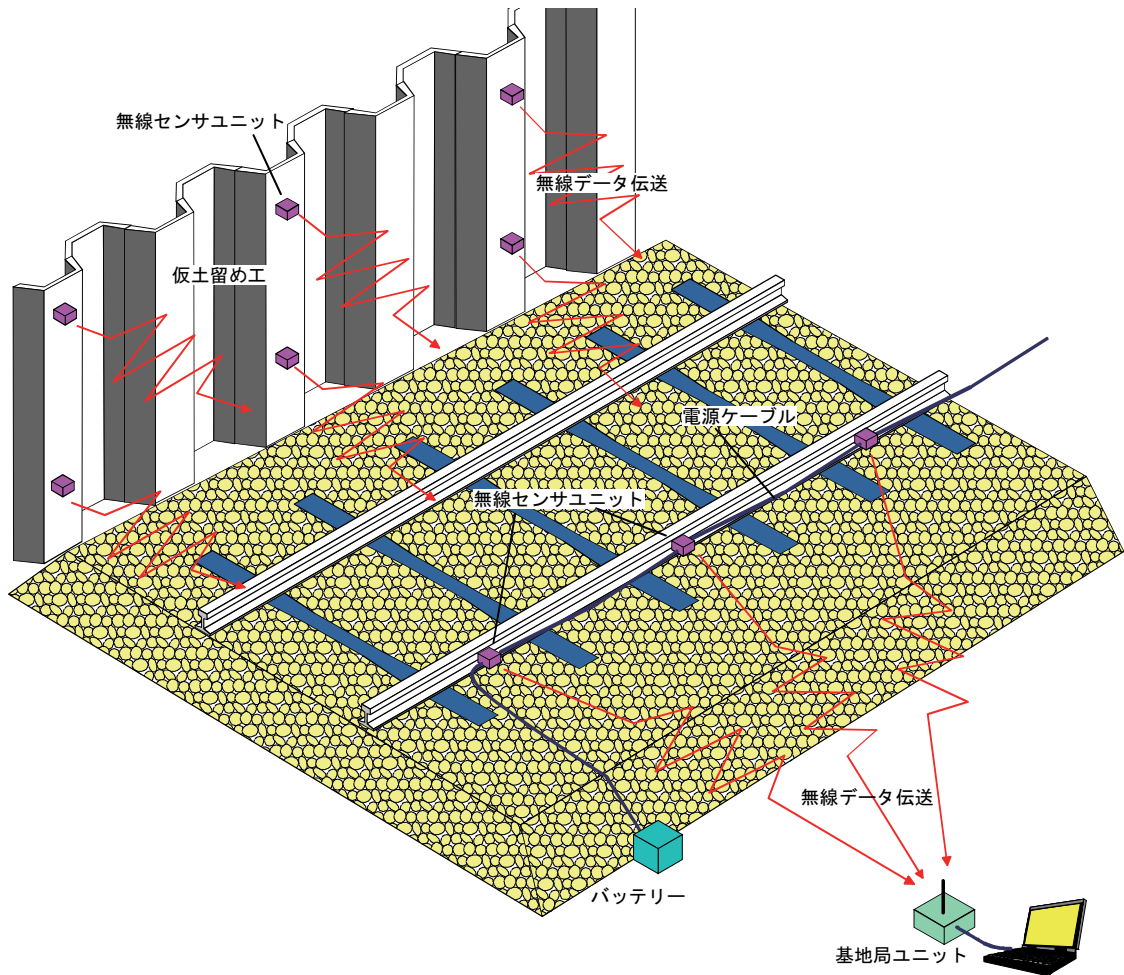
無線センサユニット



データ中継機能のイメージ

【今後の展開】

現在、試作機を用いて各種性能確認試験を行なっており、近日中に実用化する予定です。



線路近接工事監視システムの概要



試験線における軌道変位常時監視の実証試験